

## 中国語用語解説

### (1) 農業，農民，農村改革関係

**三農問題** 農業，農村，農民問題のこと。農業問題はとくに零細経営規模や低生産性などの農業構造問題，農村問題は農村と都市の社会資本金格差問題，農民問題は農民と都市住民の所得格差問題を指す。

**1号文件** その年の1号文書の意味であるが，とくに中共中央（中国共産党中央委員会）・國務院の1号文書を指すことが多い。中共中央・國務院1号文書は，1982年から1986年の5年間（うち1982～84年の3年間は中共中央単独の1号文書）と，2004年以降の毎年，農業をテーマとして取りあげている。

**家庭承包經營** 農業の各戸請負經營のこと。中国では農地は農民の集団所有（「集体所有」）であり，人民公社時代には農業經營も集団的に行われていたが，農村改革後，農家が集団から農地を請け負って自由に農業經營を行う方式に変わった。なお，農地を農民の集団所有という場合の集団は，村民委員會の場合もあれば，村民小組の場合もある。また，集団所有の性格は，日本の入会にもみられる総有に近い。

**戸口** 戸籍。中国の戸籍は大きく農業戸籍（「農業戸口」）と非農業戸籍（「非農業戸口」）に分けられ，教育，就職，社会保障など多くの点で非農業戸籍が優遇されている。なお，農業戸籍を農村戸籍（「農村戸口」），非農業戸籍を都市戸籍（「城鎮戸口」）ということもある。もともと，農業戸籍から非農業戸籍への転入は極めて困難であったが，2000年頃から非農業戸籍のうちの「小城镇」（農村部の小都市で，県庁所在都市（「县城」）も含む）戸籍への転入は比較的容易に行えるようになった。

**農民工** 農業戸籍のおもに出稼ぎ形態をとる労働者の総称。国家統計局によると，2008年の農民工総数（郷鎮外に半年以上滞在したもの）は1億4000万人に達した。また，2004年頃には一部沿海地区で「民工荒」と呼ばれる農民工不足現象も発生した。

**供銷合作社** 購買販売協同組合のことであるが，実態は国有企業に近い。農村改革前は，農村における農業生産財および生活財の供給，ならびに綿花・麻など一部農産物の買付販売を一手に引き受けていたが，市場化改革にともない農村におけるその重要性を低下させている。

**農村信用社** 信用（金融）事業を行う農村の協同組合。2000年代以降、一部の省で商業銀行または協同組合銀行（「合作銀行」）への改組が行われている。

**農民負担** 農民がおもに郷鎮政府と村民委員会に納める税金および賦課金（「費用」）の総称。

**税費改革** 農民の負担を農業税に一本化するとともに、その負担率を軽減する改革のこと。1990年代末から2000年代初頭にかけて実施され、その後の農業税廃止につながる。

**糧食** 穀物のほかに豆類とイモ類を含む。イモ類は重量5キロを糧食1キロに換算する。全国の糧食生産量の約90%が穀物であり、残りの約10%が豆類および重量を5分の1に換算したイモ類である。日本語では、一般に中国語の「糧食」を「食糧」と翻訳している。

**有機食品** 生産過程で人工的に製造された化学物質を一切使用せずに生産された食品のこと。国家環境保護部の有機食品発展センターが制定した認証基準に基づいて有機食品の認証が行われ、その基準は国際的な有機食品と合致するものである。

**緑色食品** 農業部の緑色食品発展センターから認証を受けた食品のことで、AA級とA級がある。AA級は「有機食品」に準ずる一方、A級は、生産過程における一定の化学物質の使用が認められており、減農薬農産物などがこれに相当する。

**無公害農産品** 生産過程での化学物質使用を抑えた減農薬農産物のことで、農業部がその認証を実施している。緑色食品A級より基準が緩い。

## (2) 農業産業化関係

**農業産業化** 龍頭企業が中心となり、契約農業や産地化を通じて農民や関連組織（村民委員会、農民專業合作組織、仲買人など）をインテグレートすることで、生産、加工、流通の有機的な結合を形成し、農産物の市場競争力の強化と農業利益の最大化を図ると同時に、農村の振興と農民の経済的厚生向上を実現すること。

**龍頭企業** 農産物の生産、加工、流通などを担当するアグリビジネス企業の総称。

**農民專業合作社** 直訳すると農民専門協同組合となる。専従職員や固定的施設

などの経済的な実体があり、農産物販売、生産資材購入など経常的な経済活動を共同で実施する農民組織の総称である。2007年に施行された農民專業合作社法では、「同類農作物の生産經營者あるいは同類農業生産經營サービスの提供者・利用者が、自由意思で連合し、民主的な管理を行う互助的な經濟組織」と定義される。日本の一般的な農協（総合農協）との類似点はあまりなく、専門農協や特約組合、契約出荷組合などに近い。

**農民專業協會** 経済的な事業活動をとまわず、おもに特定農産物の生産技術などの研修会や講習会を行う農民組織の総称。

**農民專業合作組織** 農民專業協會や農民專業合作社など、農業技術や農業経営に関連する農民組織の総称。

**訂単農業** 龍頭企業との契約に基づき、農業者が行う農業生産。契約栽培など。

**(農村の) 能人** 技術や経営、政治など、何らかの領域において卓越した能力を有する農村リーダーのこと。たとえば大規模専門農家、仲買人、龍頭企業の経営者、農業技術指導者、村民委員会の幹部など。

### (3) 行政制度関係

**農業部** 中央政府の農業省。中国政府の「部」は日本の「省」にあたる。「部」に準じる組織に「国家工商行政管理総局」などの「国家総局」がある。

**県** 中国の地方行政機構で、(地区級の)市と郷鎮の中間に位置する(省-市(地区級)-県-郷鎮)。中国の県の規模は、面積、人口とも日本の県より小さいケースが多い。比較的都市化が進んだ地域では、県と同格の市(「県級市」)も存在する。この場合は、地区級の市の下にさらに県級の市が存在することになる。また、大都市の区も県と同格である。

**郷鎮** 農村地域における末端行政機構であり、「郷」が日本の村、「鎮」が日本の町ないし小規模な市に相当する。

**村民委員会** 農村の末端レベルにおける大衆的な自治組織であり、正式な行政機構ではないが、実際には郷鎮政府の下請的な性格が強い。そのため、一般に「行政村」と呼ばれることも多い。人民公社時代の「生産大隊」に相当する。

**村民小組** 村民委員会の下に位置する村民の自治組織であるが、比較的小規模な村民委員会では、村民小組を設けないことも多い。村民委員会の地位と役

割に関しては明確な法律規定があるが、村民小組の法律的位置づけは曖昧である。人民公社時代の「生産隊」に相当する。

#### (4) 通貨・面積単位

**人民元（元）** 1元＝約14円（2009年8月現在）。

**ムー（「畝」）** 1ムー＝約6.67アール，15ムー＝約1ヘクタール。